

(単元) 情報社会における問題解決

(本時のねらい)

- ・問題解決の流れとそのための手段について学習する。(関心・意欲・態度)
- ・具体的な問題に対して, 問題を明確化する必要性を知る。(知識・理解)
- ・自らの考えを伝え, 他者と意見交換し, 問題を解決する。(思考・判断・表現)

(ICT活用方法)

・具体的な問題の解決を通して, 問題解決の基本的な流れを習得させるため, その具体的な状況をスライドで確認し, 状況や問題点を明確に確認する。グループごとに導いた結論やその考え方を電子黒板を用いて示し, 考え方や分析方法の違いを知るために用いた。従来は, 説明は板書や口頭で, 発表はホワイトボードのみで行っていたが ICT の活用により, グループ活動の時間の確保や, 教室の後ろの生徒まで発表内容の文字が確認できるようになった。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・問題とは何か考える。 ・本時の目標が問題解決について学習することを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題というキーワードから連想されるものを発問にて答えさせる。 ・本時の目標が問題解決について学習することを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標についてスライドを作成し, 本時の取り組む内容を確認する。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手順を知る。 ・本時の課題を知る。 ・問題が曖昧で, そのままでは解けないことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手順を説明する。 ・本時の課題「ドラッグストアの割引カード」のプリントを配り, 説明する。 ・得かどうかを判断するための条件が足りなく, そのままでは解けないことに気付かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布したプリントにある状況について解説する。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を明確化する。 ・ホワイトボードを活用し、班ごとに協力して、問題解決に取り組む。 ・結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を明確化するための条件を発問にて答えさせる。 ・班員の考えを集約するために、ホワイトボードを活用し、協力して問題を解かせる。 ・いくつかの班に、結果と考え方を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードの内容を写真で撮り電子黒板に映す。 	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめを聞く。 ・次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手順について、もう一度振り返る。 ・次時の学習内容について予告する。 		※補足など

課題の出典：Bowland Japan（ボーランド・ジャパン <http://bowlandjapan.org/>）

35. ドラッグストアの割引カード（http://bowlandjapan.org/materials_jp/bj35）

（授業の様子と使用したワークシート）



（生徒の反応と課題，改善を要する点）

ホワイトボードを利用したので，作業内容の共有が行いやすく活発な活動ができた。班ごとの話し合いでは，生徒が計算を行ったそのままのホワイトボード1枚で行ったが，表計算ソフトを用いて分析すれば大量のデータの計算ができたので，商品のリストを増やして，購入する商品・量を変化させるとどうなるか，などの分析を行わせたい。